

2020年度事業報告(案)

1. 趣旨(目的)

当法人は、人間と技術の調和を基調とした科学技術の振興を図り、もって社会経済の発展に寄与することを目的とする。この目的を達成するため、現在は科学技術のなかでも特にメカトロニクス(注1)、及びロボティクス(注2)に関する分野を中心として、普及活動及び助成事業、広報事業、並びに情報交流及び国際交流を行う。

注1:メカトロニクス・・・機械工学(メカニクス、Mechanics)と電子工学(エレクトロニクス、Electronics)を合わせた和製英語で、機械装置に電子工学的知見を融合させることによって、新たな価値を求めようとする学問・技術分野。

注2:ロボティクス・・・狭義には、ロボット工学と呼ばれ、センサ/知能処理/効果器を有するシステムで、実世界で動作、相互作用するシステム。広義には、ロボット学と呼ばれ、実世界情報処理を中核とし、社会、人間との相互作用を介して、サービスを提供するシステム

2. 事業

2-1 科学技術に関する普及、調査研究及びこれらに対する助成に関する事業

2-1-1 メカトロニクス技術・ロボット技術の普及活動と助成事業

2-1-1-1 マイクロマウス大会(公益事業)の開催

第35回全日本学生マイクロマウス大会の開催

【事業内容・実施時期】

大会名称	第35回全日本学生マイクロマウス大会
開催日程	2020年10月20日(日)
開催会場	オンライン
主催	公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
参加台数	19台(登録台数)(167台昨年度実績※)
運営	第35回全日本学生マイクロマウス実行委員会
運営協力	マイクロマウス・サポーターズ、ほか関連団体
後援	なし

第41回全日本マイクロマウス大会(マイクロマウス2020)の開催

【事業内容・実施時期】

大会名称	第41回全日本マイクロマウス大会(マイクロマウス2020)
開催日程	2021年2月27日(土)
開催会場	オンライン
主催	公益財団法人ニューテクノロジー振興財団
参加台数	73台(登録台数)(219台 昨年度実績※)
登録参加国	日本、台湾
運営	マイクロマウス2020実行委員会 実行委員長:鈴木秀和(東京工芸大学)
運営協力	マイクロマウス・サポーターズ、東京工芸大学鈴木研究室
後援	なし

※今年度はオンラインで各自の会場での完走を出場条件にしたため、参加台数は減っている。

2-1-1-2 マイクロマウス地区大会の助成

今年度は、地区大会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止となったため助成を行わなかった。

2-1-1-3 つくばチャレンジへの協力

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、つくばチャレンジ2020の実験走行および本走行は中止となったため、特に協力等の活動はしていない。

2-1-2 その他の普及活動

WEB、メーリングリストを通じて行った。

2-1-3 情報交流・国際交流に関する事業

「International Conference on Intelligent Robots and Systems2020」(知能ロボットとシステムに関する国際会議2020:略称IROS2020)への共催

開催日程:2020年9月30日～10月5日 開催地: オンライン 参加者: 油田

3. 総務

3-1 会議

3-1-1 理事会の開催

2020年6月8日 第1回定例理事会 COVID-19感染拡大防止のためオンライン審議開催

2021年3月8日 第2回定例理事会 COVID-19感染拡大防止のためオンライン審議開催

3-1-2 評議員会の開催

2020年6月22日 第1回定時評議員会 みなし決議

2021年3月24日 第2回定時評議員会 COVID-19感染拡大防止のためオンライン審議開催

3-2 寄附

今期の寄附金はなかった。

3-3 事業予算、その他について

【事業予算、資金関連】

1. 今年度はCOVID-19感染拡大防止のため、持続化補助金を受給した。
2. 決算として出た剰余金は、イベントの積立予算として繰越した。
3. 予定していた正味財産からの取り崩しは本年度はしなかった。

【内閣府への報告事項等】

1. 理事会で承認した令和2年度予算と事業計画について内閣府に報告した。
2. 内閣府より立ち入り検査の要請があったが、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言を受けて延期となり、2021年度に持ち越される見込みである。(2021年4月12日に実施)

以上